

## 中心市街地



川越のシンボル「時の鐘」や重厚な蔵造りの町並みが残る一番街周辺は、1999年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。秋に行われる山車行事「川越まつり」には、毎年100万人近い観光客が訪れる。

## 外観



平安初期に建立された喜多院は、正月のだるま市や日本三大羅漢の一つに数えられる五百羅漢(石仏郡)が有名で、多くの参拝客で賑わっている。境内にあるほとんどの建物が重要文化財に指定されている。

## 女性トイレ ひろびろブース



小さなお子様連れに配慮して女性トイレには、ベビーチェアを備えたひろびろブースを2ヶ所設置している。

## 女性トイレ 洗面コーナー



洗面器は、スクエアな形状が特長のベッセル式を採用。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができ、止め忘れがない自動水栓を設置している。

## トイレ図面



全て洋式便器を採用し、ウォシュレットを設置。男女とも、混雑緩和のため、改修前よりも、大便器ブースの数を増やしている。

## トイレ舎外観



山門を抜けた境内に建つトイレ舎。寺院内の雰囲気にあわせ、塗り壁仕上げの日本家屋風の外観となっている。

## 男性トイレ 小便器コーナー



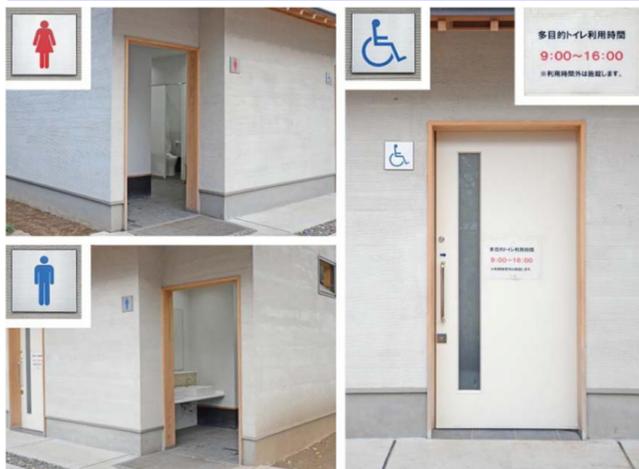
小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、においの発生を抑えるため、目地の少ない大形タイル(おだれ石)を設置している。

## 多機能トイレ



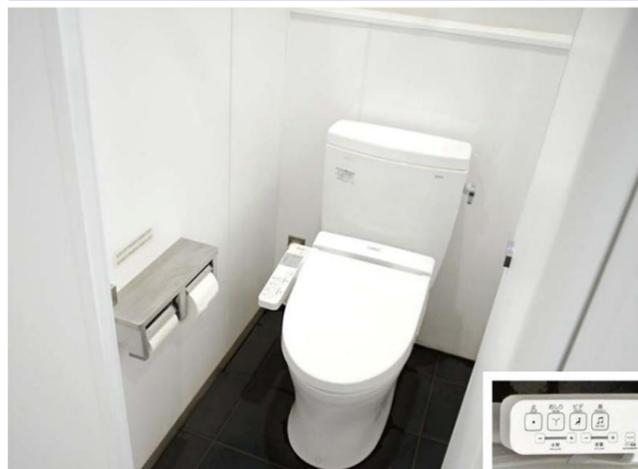
車いす使用者や小さなお子様連れなどを想定して、ベビーチェア・ベビーシート・フィッティングボードを備えた多機能トイレ。

## トイレ入口



多機能トイレを中央に、左右に振り分けられた男女トイレの入口。多機能トイレのみ、防犯対策として16時以降は寺院が施錠を行う。

## 女性トイレ 大便器ブース



大便器は、すべて洋式便器を採用しウォシュレットを設置。ウォシュレットの操作スイッチ部には、英文字と点字を併記している。

## 建築概要

|      |                  |
|------|------------------|
| 名称   | 川越大師 喜多院         |
| 所在地  | 埼玉県川越市小仙波町1-20-1 |
| 施主   | 川越市              |
| 設計   | 川越市              |
| 施工   | 株式会社 高橋工務店       |
| 竣工年月 | 2015年3月          |

## 水まわりの特長

**<改修の経緯>**  
年間約650万人の観光客が訪れる「小江戸川越」。川越市の中心市街地には、今も残る蔵造りの町並みや時の鐘、川越城本丸御殿など、江戸の情緒を感じさせる旧跡や歴史的建造物などにより、国から歴史都市に認定されている。特に喜多院は、江戸城から移築された三代将軍徳川家光・春日局ゆかりの建物などで有名で、1月3日のだるま市など、さまざまな行事に多くの参拝客が訪れる。快適な観光環境実現のため、街中のトイレ整備が求められている中、喜多院のトイレ施設は、老朽化が進み設備もふるにおいがするなど、改善を求める声が多く上がっていたこともありトイレ舎を一新した。

**<トイレの特長>**  
市民や観光客からの要望もあり、すべて洋式便器を採用し、ウォシュレットを設置。また、混雑緩和のために男女とも大便器ブースの数を増やしている。寺院内にふさわしい外観を持つトイレは、白を基調とした清潔感を感じさせる空間となり、市が川越市シルバー人材センターに委託し、平日1回、休日2回の清掃作業を実施。今後は、増加する外国人観光客に配慮して、ウォシュレットの使い方の多言語表記を実施するなど、お客様をおもてなしするためのトイレ整備を、市全体で更に進めていく予定。